



第33回 山口県環境保全型農業フォーラム

食の主権をとりもどせ

ローカルフードという希望

2024年2月24日 土

10:00～16:00 (9:30 開場)

開催場所:KDDI維新ホール・会議室 (裏面地図参照)

会員500円(資料代) 会員外*1500円(資料代500円を含む)

定員200名。

(*当日入会可能。年会費2000円)

13:30～15:00 基調講演:

食の主権をとりもどせ
ローカルフードという希望

講師:堤 未果 国際ジャーナリスト



10:00～12:00 活動報告:

- ・長門市・自然栽培でお米10俵の方法
- ・山口市・エシカル給食の可能性
- ・平生町・食べる=生きる=遊ぶ

主催:山口県環境保全型農業推進研究会・山口県有機農業団体連絡協議会

共催:やまぐちの種子を守る会・ヤッタネ!やまぐち

後援: 山口県・山口市

基調講演のおもな内容

いつの間にか私たちの食卓に忍び寄る、未知の食技術の数々。人工肉バーガー、ゲノム編集魚、コオロギパンにワクチンレタス……。

「環境に優しく食糧危機も解決！」と政府は推進するけれど、本当にそうでしょうか？ 実は今、私たちの大切な「食」が、今だけカネだけ自分だけのマネーゲームに狙われています。報道されない食ビジネスの裏と、自分や家族、地域を守る方法。壊れた地球の再生に取り組む人々は、なぜ日本という国に希望を託すのか？ 何が起きているかを知り、あきらめさえしなければ、未来は必ず変えられますー。

講師・堤末果さんの紹介

つつみ・みか。東京都生まれ。

ニューヨーク州立大学国際関係論学科卒業。ニューヨーク市立大学大学院国際関係論学科修了。国連、アムネスティインターナショナルNY支局員、米国野村証券を経て現職。

日米を行き来しながら取材、講演、メディア出演を続ける。多くの著書は海外でも翻訳されている。

受賞歴に、「報道が教えてくれないアメリカ弱者革命」で日本ジャーナリスト会議黒田清新人賞。3部作の「ルポ・貧困大国アメリカ」で新書大賞2009、日本エッセイストクラブ賞など。

夫の川田龍平参議院議員とともに、ローカルフード法の設立へむけて活動中。

WEB番組「月刊アンダーワールド」キャスター。

主な著書に「堤末果のショックドクトリン：政府のやりたい放題から身を守る方法」(幻冬舎新書)、「ルポ 食が壊れる」(文春新書)、「デジタル・ファシズム：日本の資産と主権が消える」(NHK新書)、「株式会社アメリカの日本解体計画」(経営科学出版)、「日本が売られる」(幻冬舎新書)、「核大国ニッポン」(小学館)、「アメリカから〈自由〉が消える」(扶桑社新書)、「政府はもう嘘をつけない」(角川新書)、「貧困大国アメリカ」(岩波新書)、「社会の真実のみつけ方」(岩波ジュニア新書)、他多数。著書は海外でも翻訳されている。

山口県各地からの活動報告

- 1 自然栽培で反収10俵を実現する方法** 中野茂樹(やまぐち環境研理事)
除草なしで10⁷換算600キロのお米が！ 健康な深い作土の田んぼに作り直す具体的な方法。
- 2 みんなが笑顔になるエシカル給食の可能性** 児玉純子(上級食育指導士)
環境にやさしく食べ残しが少ない地産地消の給食をめざす、山口市仁保地域のみなさんの取り組み。
- 3 食べる=生きる=遊ぶ 大下充億(こびとのおうちえん、地球子舎代表)**
ケニアの田舎に1年滞在して希望を見つけ、故郷に帰って始めた、食の自給をめざす幼稚園と学校。

会場は新山口駅に直結



お問い合わせ

メール/tomoyasu@mx51.tiki.ne.jp

FAX/0836-84-0422

携帯/090-7121-1697(比嘉)

当日のその他のプログラム

12:30-13:15 地域の種苗交換会

15:15-16:00 情報交換とまとめ

堤末果さんからの大切なお知らせ

当日のお話の録画・録音・内容の掲載等は一切お断りしています。

感染症防止対策

必要に応じ当日受付に掲示します。